

西脇市立学校学習環境規模適正化地域会議（黒田庄中学校区） 意見の概要

と き 令和2年10月16日（金）
 ところ 西脇市コミュニティーセンター黒田町地区会館
 （黒っこプラザ） ホール

テーマ：学校（教育）に期待すること、子どもの身に付けさせたいこと（力）

1 就学前児童保護者グループ

No	意 見
1	子どもの様子（知りたい）
2	先生との距離感
3	異年齢交流
4	友だちとの繋がり
5	楽しさ（楽しい学校）
6	読解力（読み解く力）
7	技術力（パソコン、タブレット等）
8	地域愛
9	地域の方々との繋がり・ 地域との関わり
10	地場産業に関する理解
11	安全に関する力（交通安全等、自己を守る力）
12	自分の思いが言える（自分の意見を主張でき、相手の気持ちを読み解く力）
13	自分のことは自分でできる
14	あいさつができる（家庭でも、学校でも、地域でも）

（学校は、勉強とともに人間関係を学ぶ場）

（地域愛に繋がる地域の歴史を学ぶ機会、希薄になりつつある地域とのふれあいが必要）

2 小中学校保護者グループ

No	意見
1	自分で考える力（主体性や気づく力を育てられる環境を）
2	縦割り班活動の強化（上下の学年の関わり・協力）（高学年の子どもに責任が芽生え、低学年の子どもは目上を尊敬することになる）
3	体力向上（コロナ下で運動不足）
4	教員の質の向上（一人一人をしっかりと見つめ、子どもの能力を伸ばす指導）子どもによる教員評価
5	コミュニケーション能力の育成
6	主体的に意見が言い合える環境づくり（主体性の育成）
7	英語教育の力
8	好奇心が育つような環境（気軽に質問できるような）
9	オンライン授業（学校教員以外の専門家の指導も）
10	読解力が身につくような指導 読書を取り入れる等（子どもが読書した内容を発表する等）
11	社会性・社会的な能力向上
12	人との繋がりを大切にすること（校内・校外・地域内）人との触れ合いを大切にしたい指導
13	相手の立場に立って考える力
14	向上心のある子ども
15	言葉使い（目上の人に対する） IT関連の授業に力を入れる
16	パソコンが使えるように
17	英語が話せるように
18	元気さ 明るさ 豊かな人間性の育成が学力向上にも繋がる
19	切磋琢磨・競争し高め合う面が不足している（学年単学級の改善）

3 地域代表・学校関係者グループ

No	意見
1	何をもって「適正化」というのか。民間企業なら「効率化」が適正化の目安である。資金注入により魅力的な教育ができる。「財政」と「教育効果」の相反関係をどう整理すればよいか。
2	今の時代、先生方の苦勞が大きくなっていることは想像できる。
3	家庭の教育力が落ちている。地域も頑張らざるを得ない。
4	適正な規模は、小学校と中学校で相違するのではないか。小学校は1学級あたりの人数は少ない方がいいのが現状、一方、中学校は少人数では活動できない、効果が上がらないことが多い。
5	我が子であれば、ある程度的人数がいる学校に通わせたい。多くの子どもに揉まれることが大切。 少人数ならではの親密な関係もいいが、一旦関係が崩れると後がしんどい。
6	適正規模だけの観点では、どの学校とどの学校を一緒にするのかという議論で終始する。
7	1学年の学級数、1クラスの子どもの人数等、どのくらいの規模が望ましいか。
8	1学年2学級以上が望ましい。クラス替えはあるべきだ。
9	子どもの数が減っても、学級数は増やせる。市費負担教職員の導入も考えてはどうか。
10	教職員数を増やさずとも、地域の方に多く介入してもらえばよい。きめ細かな指導も期待できる。
11	教職員の質を上げて欲しい。
12	先生方の質がいか程なのかよくわからない。
13	少なくとも、地域に溶け込めるような教職員でいてほしい。
14	教員は、大学を卒業したらすぐに学校に配置される。地域の行事にも参加しない。
15	地域の方々との関係は大切である。
16	地域と良好な関係を保つと、学校もいろいろと地域に依頼しやすいのではないか。
17	黒田庄地区と学校との関係は魅力的である。地域から信頼される学校でありたい。小中の関係も黒田庄地区は優れたものがある。
18	現役の保護者世代は、子どもの学力等が関心事であると思う。我々は、子どもの社会性やあいさつ・礼儀等に関心がいく。
19	あいさつひとつでも学校は変わる。